

徴収業務を効率的に行うための取組について

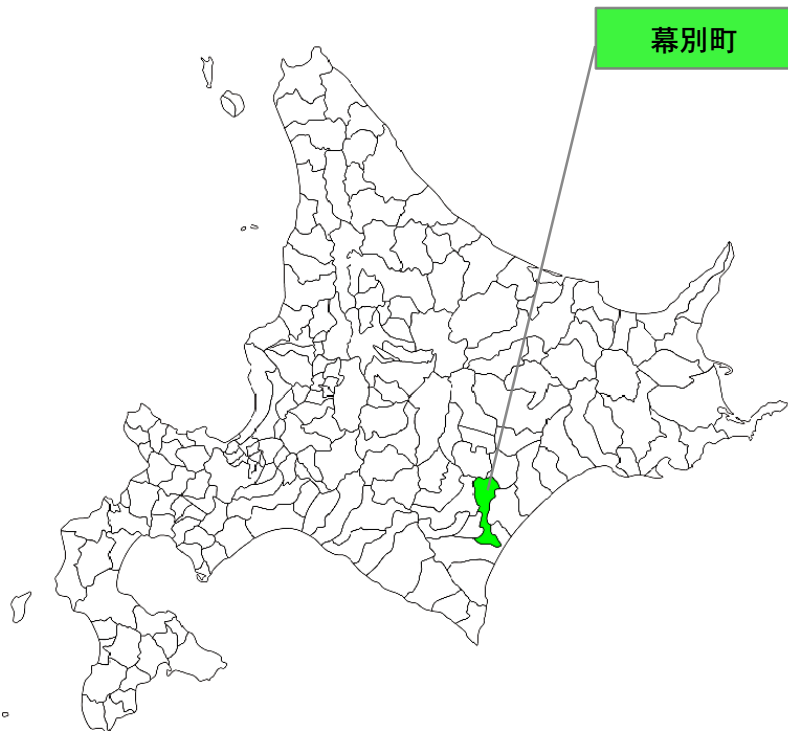
【北海道 幕別町】

～令和2年度 紹介事例～

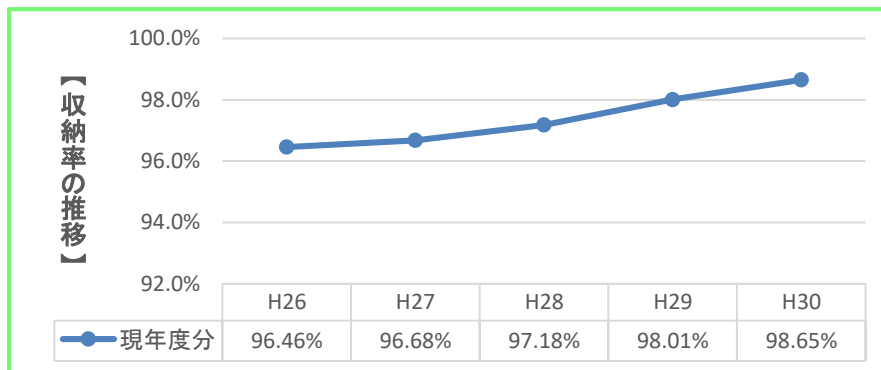
北海道厚生局 管理課

幕別町(まくべつちょう)の概要

- ・ 幕別町は北海道の東部に位置し、北に十勝川、西に札内川、中央部を猿別川、そして南に当縁川が流れ、西方に日高山脈を一望できる、平地や段丘が広がる豊かな自然に恵まれた地域。
- ・ 耕種では、近年「長いも」の生産量が全国の上位に位置し、ゆり根などの生産も盛んであるほか、酪農・畜産においては、中小規模の酪農経営、黒毛和種繁殖経営等が耕種と複合して行われており、大規模酪農専業経営とともに多彩な形態の経営が展開されている。
- ・ ナウマン象の親子のオブジェが印象的な「ナウマン公園」には、パークゴルフ場、道の駅、ナウマン象記念館、温泉などが隣接しており、さまざまな用途で楽しめるエリアとなっている。



人口	被保険者数(国保)	加入割合
26,716人	6,608人	24.73%



【数値は平成31年3月末現在】

◆ 幕別町の収納業務体制 ◆

- ◎ 住民生活課（国保医療係）
： 加入手続きのほか、納付書の発行等を担当。被保険者から国保税に関して相談があった場合は「税務課」を案内している。
- ◎ 税務課（収納係）
： 国保税を含む町税等の収納事務を集約して一元的に対応。また、「十勝市町村税滞納整理機構」と連携しながら、処理困難な事案にも柔軟に対応している。

「徴収業務」を可能な限り効率的に行うために

【組織的な対応】 + 【実務的な手法】

- ◎ 徴収事務の一元化（H28年度～）
税務課が対応。(住民生活課と連携)
- ◎ 「十勝市町村税滞納整理機構」の活用
困難な案件は機構に委託。
- ◎ 研修への積極的な参加を奨励
可能な限り多くの職員が参加。
- ◎ 滞納管理システムの活用
- ◎ 滞納整理先進町からの講師派遣や視察

— 収納率向上推進本部担当者会議の設置 —

副町長を本部長とし、各部長、住宅・水道・国保・介護・福祉・保育・学校教育・給食の各担当、支所の税務担当及び税務課が構成員。

各構成員間の情報交換、定期的な収納率の確認、現状把握と共有、関係機関との調整や口座振替制度の推進等収納率の向上に資するため、年間1～2回開催。

◆滞納者に対する催告

限られた人員で、**手間と時間**を要する「電話」や「戸別訪問」を行うことは、効率面で課題がある。



基本的に催告は「**書面**」で行う。

滞納者からの反応により納付意思を確認する。

(効果)

- ・ 職員の対応にバラツキが生じない。
- ・ 速やかな滞納処分への移行が可能。

◆滞納者との接触

- ① 短期被保険者証の更新月 と
- ② 夜間・休日の納付相談の実施月 の
タイミングが同期しており、支所でも実施することで、滞納者との接触率向上を図る。(窓口・電話相談は国保医療係と連携して実施。)

◆効果的な滞納処分等

預貯金のほか、**給与**や捜索を行った上で**動産**の差押えを実施。動産は落札が見込めるものを優先して差押え、インターネット公売を活用して売却する。

また、納付意思がないと判断した場合は、直ちに滞納処分手続きに移行する等、滞納者には厳格な対応を行っている。

限られた人員による効率的な対応

- ・ 組織内部で連携・状況把握できる体制づくり
- ・ 「滞納整理機構」の活用
- ・ **一貫した滞納処分と効率化を両立させる取組**
(メリハリをつけた対応)

内外に連携できる体制や組織があることで

- ★ 業務の分散・孤立防止が可能。
- ★ 滞納者の状況にあったアプローチ方法の選択が可能。



様々な連携体制の構築や業務の効率化を図ることで、
より効果的な徴収業務が可能となり、収納率の向上が期待される

※ 上記のような取組を背景に、幕別町では近年、国保税の収納率が堅調に伸びている状況にあります。